



「がんばる人 in OHTOSHI」のコーナーでは、地域でイキキと活躍している人達をご紹介します！

今回は山口市消防団鴻南方面隊大歳分団の女性隊員を紹介します。



左から 藤川京子さん 金子かおりさん 廣沢礼子さん

今女性隊員は3名です。キャリア11年の藤川京子さんと廣沢礼子さん、そして2年目の金子かおりさんです。全隊員が38名いるなかで女性隊員は貴重です。みなさん先輩隊員の熱い熱意にさそわれての入隊ですが、今では、消防のエキスパートです。

主な消防活動は、中央消防署に出向いての消防車・ポンプ車の点検。春夏の大歳地区の見まわり（野焼き・不審火の点検など）。また、地域の活動では、夏祭りでは輪なげ・紙芝居、防災の日でのAEDの使用講習、青空天国（子供の日）の消防車の展示など。「消防団だより」も年一回発行されています。また、大歳での山火事や家屋火事の出動で、火事のこわさを間近かに実感したそうです。

訓練などきついことはたくさんありますが、家族の支え、また何者にもまして「消防団長ならびに団員の皆さんのご指導、気配りのおかげで、長年在籍して活動することができ、感謝しています。」とのことです。

行/事/予/定

1月~3月

- 1月16日(土) 大歳地区どんと焼き【朝田神社】
- 1月17日(日) 第11回山口市駅伝競走大会【山口きらら博記念公園】
- 2月 1日(月) 鴻南中学校区地域協育ネット「あいさつの日」
- 2月11日(木・祝) 建国記念の日
- 3月 4日(金) 山口総合支援学校 卒業式【山口総合支援学校】
- 3月 7日(月) 鴻南中学校区地域協育ネット「あいさつの日」
- 3月10日(木) 鴻南中学校 卒業式【鴻南中学校】
- 3月18日(金) 大歳小学校 卒業式【大歳小学校】
- 3月20日(日・祝) 春分の日
- 3月25日(金) 大歳小学校 修了式【大歳小学校】
- 3月25日(金) 鴻南中学校 修了式【鴻南中学校】



おととわかあ路

Information

■ やったね優勝! レノファ山口J2へ昇格!

昨年11月、山口市に本拠地を置く、“レノファ山口”がJ3で優勝し、来期からJ2へ昇格することが決まりました。これを機に、にわかサッカーファンになられた方も多いのではありませんか。チームの事務所は、石州街道沿いにありますが意外に知られていません。地元ファンとしては、J2での活躍を期待し、しっかり応援しましょう!



↑レノファ山口のHPより
レノファ山口 取締役GM 石原正康さんへ
「応援ありがとうございました。今年も頑張ります!」

編集後記

「かわら版」の編集員になって半年がたちました。もともと文章を書くことは苦手で、決まった字数の中で伝えることとなるとより大変です。しかし、地域の行事等に携わる方などに取材していく中での楽しみもあります。新しい年を迎え、これからも地域の活動を伝える「ツール」のお役にたてればと思います。(白上)

まちづくり おおとし かわら版 2016.1 Vol.37



徳は孤ならず、必ず隣有り (里仁)

あけましておめでとうございませ
本年も皆様と共に
明るく住みよい大歳を実現すべく
地域づくりに取り組んでまいります
どうぞよろしくお願いたします

大歳自治振興会
会長 吉富 滋浩

申年にちなんで
平成28年の干支は「申(さる)」です。申は、草木の果実が成熟して、固まっ
ていくありさまを表しています。ま
た申は「去る」に通じて「災害は去る」
「病が去る」など世の中が明るくな
る年です。さらに十二支をたどれば
「猿」ですが、猿は、山の神の使いと
して親しまれ、俊敏で頭脳が優れて
いることから、景気が良くなる年
に
なればと願います。

注釈:
自分、たくさんの人た
ちのおかげで支えられて
生きていることを知り感
謝しながら生きよう。
「ありがとう」が言える
人の周りに人が集まる。
〔論語〕里仁から

表紙写真: 大歳サッカースポーツ少年団の皆さん
12月13日(日)に維新百年記念公園で行われた
大歳体育振興会長杯争奪少年サッカー大会のときに撮影

コミュニティ交通検討委員会を開催しました。

平成27年度第1回コミュニティ交通検討委員会を11月12日(木)、交流センターで開催しました。当日は、先に実施した「コミュニティタクシーの導入に関するアンケート」の結果をもとに、学識経験者として森栗茂一教授(大阪大学まちみちコミュニケーション研究室)や市交通政策課の方にご参画いただき、事業化の見込みや課題について協議しました。主なやりとりは以下のとおりです。

の割合は低く、コミュニティタクシーを事業化するのには困難。

【通学路の安全確保が必要】

・この度のアンケートは、視点が高齢者の移動にあてられていたが、大歳地域の道路事情等を考えれば、子どもにも視点をあてる必要があるのではないかと。子どもに視点をあてた場合、通学路の安全確保をとることが重要であり、そのために地域は何ができるかを検討することが必要。

【取組みの推進に必要なもの】

・さまざまな取組みを進めるためには、地域がまとまる事が不可欠。
こうした議論の末、森栗教授から三つの提案(①

自家用助け合い送迎、②通学路の安全確保、③一方通行のバス路線)があり、それに対し委員の皆さんが意見や異論、さらには自身が具体的にできることなどを示し、協議を深めました。

今後もコミュニティ交通検討委員会では、こうした協議や議論を継続し、大歳地域の課題解決に向けて取り組んでいくこととしています。

地域の皆様で興味のある方は、今後の取組みに積極的に参加いただくなど、ご協力をお願いします。

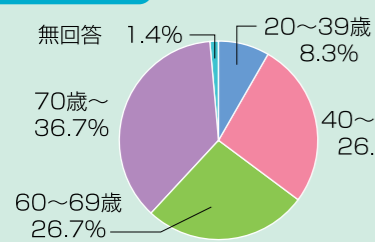
以下は、アンケート結果と検討委員会の様子です。(アンケート結果については、大歳自治振興会HPに掲載していますのでご覧ください。)



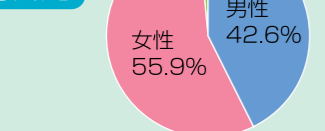
アンケート

※アンケートは、大歳地区全自治会全世帯の4,535世帯を対象とし、1世帯に2部随2布しました。最終的な回収数は、2,225、回収率は、24.5%となっています。

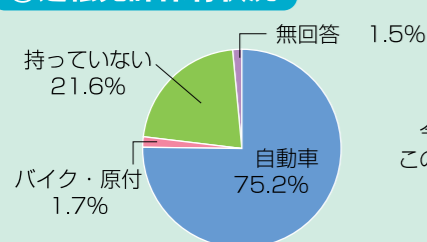
①年齢構成



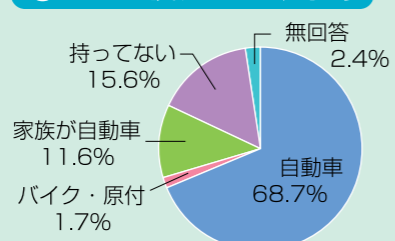
②男女比



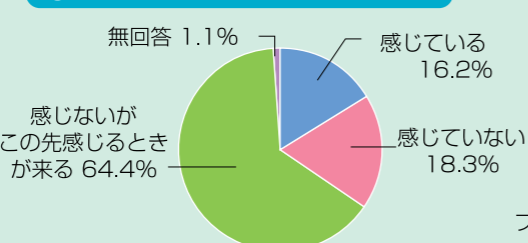
③運転免許保有状況



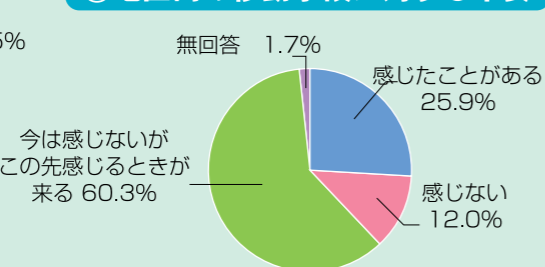
④自由に使える自動車等



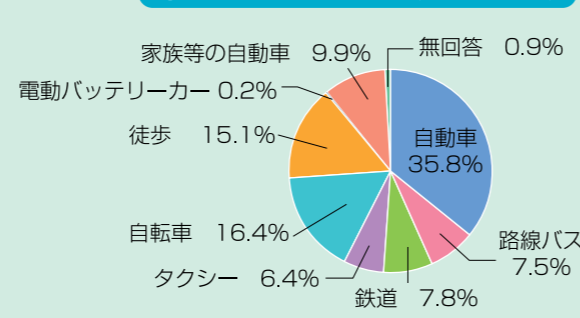
⑤自動車等に乗り続ける不安



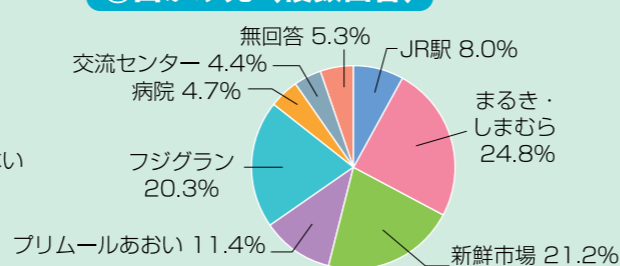
⑥地区内の移動手段に対する不安



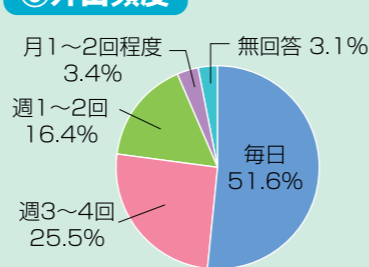
⑦日常の移動手段(複数回答)



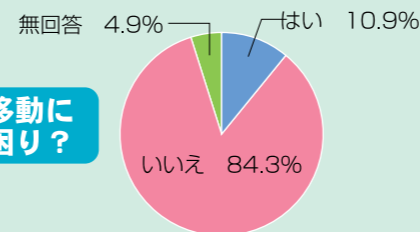
⑧出かけ先(複数回答)



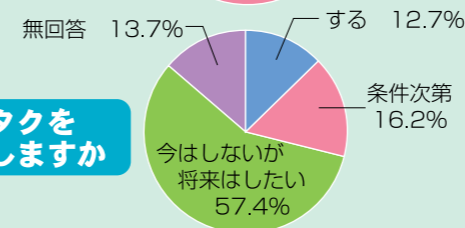
⑨外出頻度



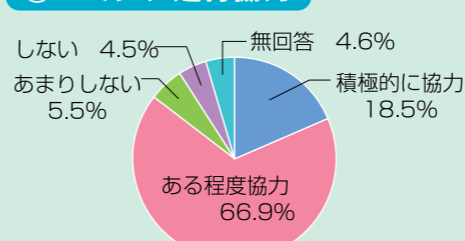
⑩普段の移動にお困り?



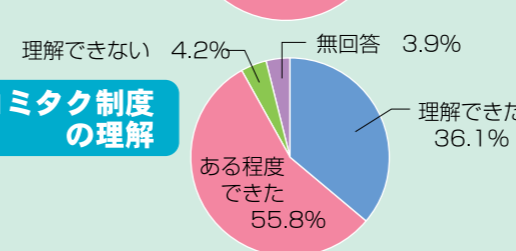
⑪コミタクを利用しますか



⑫コミタク運行協力



⑬コミタク制度の理解



大歳歴史の散歩道 Vol.16

吉富簡一 その3

足かせとなった家産?

長州では下関の白石正一郎、小郡の林勇蔵、矢原の吉富簡一が豪商・豪農の活動家として有名ですが、若くして家督を継いだ簡一にとって師ともいべき縁戚の林勇蔵が地域に生きる農民指導者の姿勢で一貫しているのに対し、簡一には志士の姿勢が強く表れています。しかし、簡一には目的のために家をも捨てて東奔西走するという志士に不可欠な身軽さがありませんでした。そのため鴻城軍結成に重要な役割を果たしながら、6月にはやめて家に帰り、幕府との四境戦争には参加するが、戊辰戦争には参加していません。そのため戊辰戦争での活躍が人事考課の中心となった明治政府には登用されませんでした。簡一には26町の土地と3千俵の収入をもたらす家産をみる必要があったためです。もっとも土地からの小作収入より金融業などが家産の中心で、簡一はその方面にも能力を発揮しました。

明治3年の諸隊反乱の際、木戸孝允を助けて奮闘し、木戸にくどかれて小菅県庁、ついで大蔵省の役人になります。木戸は彼をひきたてるため岩倉遣欧使節団への同行を呼びかけます。64名の使節・随員が後の明治政府の中核をなしたことを考えれば絶好の機会でしたが、藩に貸した5千石が踏み倒されるとい破産の危機に遭遇して、同行を断り山口に帰ります。明治7年には、下野した井上馨がつくった「先収会社」の大阪支店頭取になります。米を扱う同社の責任者として堂島米市場で「矢原將軍あり」と恐れられる辣腕を振るいます。しかし、明治9年、同社は解散。幹部は新たに、三井物産や藤田組をつくり、財閥となって経済界で活躍を続けますが、簡一だけはまたまた山口に帰り、以後、地方政治家として一生を終えます。晩年、孫婿の吉富三郎氏に「自分に田畑がなかったら良かった」と述懐したそうです。かつての同志たちが元老などとして活躍しているのに、家産を守るという選択をしたためチャンスを逃したとの悔いがよぎったのではないのでしょうか。



先収会社幹部 前列左より 吉富簡一、井上馨、益田孝